

東日本大震災を 未来へ語りついでいくための さまざまな取り組み

MMIX Lab

<3.11メモリアルプロジェクト>

今回の大震災では多くのものが失われました。すべてが瓦礫と化した沿岸の町でも瓦礫撤去が完了し、何もなかったかのような光景が出現しています。こうした中、すべてを綺麗に元通りに戻すのではなく、後世に伝えていく「もの」が必要だと考え、ねじ曲がった公共物などを収集。写真、映像、証言、科学的データだけでは届かない、その場で感じられる・感じられたモノ、自然の脅威を後世に伝える原爆ドームのような役割をするメモリアルなモノを保管、公開していくことで、東日本大震災を未来へ語りついでいくプロジェクトが「3.11メモリアルプロジェクト」です。

<これまでの主なメモリアル・キャラバン>

3331 Arts Chiyoda (東京) 2012/3/11-25
光州デザインビエンナーレ (韓国) 2011/9/2-10/23
CHUNG SHAN CREATIVE HUB (台湾) 2012/3/2-4/8
水戸芸術館「3・11とアーティスト:進行形の記録」2012/10/13-12/9
CAELUM GALLERY (NY, USA) 2013/10/1-19
六本木アートナイト2014 (東京) 2014/4/19
らいとびあ21 (大阪) 2014/7/19-8/31 ほか



福島県いわき市立久之浜第一小学校で



撮影:千葉拓人



桜3.11プロジェクト実行委員会 <桜3.11学校プロジェクト>

津波の被害にあった地域の小中学校に桜を植えることで、地震と津波の記憶を永続的なものにし、桜を通じて東北4県の人々のところを結ぶことを目指します。

<http://sakura-art311.net>

キッズ・メディア・ステーション <石巻日日こども新聞>

宮城県石巻の子どもたちが、石巻の今を伝える新聞。2012年3月創刊。本物の新聞と同じ仕様で3ヶ月に一度、5万部を発行。こども記者のひとり千葉拓人君は各地で写真展を開くなど、それぞれの才能が開花しています。

<http://kodomokisha.net>

コミュニティアート・ふなばし ×アート・インクルージョン <おしるこカフェ>

毎月一回、仙台のあすと長町仮設住宅で行われる「おしるこを食べるだけで何もしない場」。新宿歌舞伎町の稲荷鬼王神社などから支援を受けて2012年1月に始まった自然体のコミュニティづくりを写真等でご紹介します。



「伝える学校」講義:さまざまな事例から「伝え方」を学ぶ

仙台市、MMIX Lab、20世紀アーカイブ仙台、 RE:プロジェクト<伝える学校>

市民ひとりひとりが自分の「伝える視点」を持って世代や地域を越えて今回の震災からの経験を伝えていくことができるよう、講義やゼミ等多様なプログラムを提供しながら、市民の「伝えたい」を発信する場づくりに取り組んでいます。

Javier Luna <360 Views of Tohoku - 東北360景 ->

震災前から東北の写真を撮り続けているスペイン出身の写真家 Javier Lunaによる、新しい視点で地域をとらえ直す、プロジェクト。



仙台・定禅寺通りでのインスタレーション, 2007

門脇篤 <赤い東北>

伊達政宗が仙台の町割りをした際に使った縄を埋めたのが起源という仙台・野中神社境内に、8/6-7の「仙台七夕」期間中、「絆」をテーマにしたインスタレーションを制作します。そこで使った赤い毛糸を新宿へ運び、東北をかたどったインスタレーションへと転生させます。